



## Race Report

21 June, 2012

### triple a vantage GT3、最高の滑り出しから一転 悪夢のトラブルで予選は14番手

【公式練習】 天候：曇 | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始27℃/31℃ 終了29℃/33℃

2012年シリーズの第3戦を迎えた2012 AUTOBACS SUPER GT SERIES。「SUPER GT INTERNATIONAL SERIES MALAYSIA」はシリーズ中唯一となる海外ラウンドとなる。そのフリー走行&公式予選は、6月9日午前、セパン・インターナショナル・サーキット(マレーシア)で幕を開けた。

前戦富士では群を抜いたレースペースを誇りながらも3位となった事もあり、今回の第3戦では「優勝」を手に入れる事だけを期しここセパンへと乗り込んで来た吉本大樹&A Speed。するとtriple a vantage GT3は最初の公式セッションとなるフリー走行でいきなりその速さを見せつける。南国マレーシアらしくないどんよりとした曇り空の下、現地時間の午前10時からスタートした公式練習。GT300とGT500の混走時間帯が100分、その後各クラス10分間の占有時間帯が設けられるなど通常よりも長めのセッションとなった今回の公式練習セッション。前夜の雨で公式練習寸前まで路面は湿った状態ではあったものの、大きくコンディションが崩れる事はなく、各陣営はドライタイヤでコースやマシンのチェックを行って行く。その後徐々にアタックへと入って行く陣営が出始める中、triple a vantage GT3は吉本大樹がコースイン。ここでいきなり2'05"341をマーク、幸先良くタイミングモニター最上段に名を連ねる事に成功する。

ラスト10分間はGT300クラスの占有走行時間帯。ここでも序盤にマークした吉本のタイムを上回るマシンは現れず、結果triple a vantage GT3はこのセッションをトップで終了する事に。ところがtriple a vantage GT3はその結果の陰で重大なトラブルを抱えてしまっていた。セッション終盤にマシンの2速ギアが破損、ガレージにマシンを戻し必死の修復作業を始めるも、「スペアパーツが無く、ミッションをバラす為の特殊工具も無い」と、この週末のレースを続行する事すら危ぶまれる危機的状況に追い込まれていく。

結局この重大なトラブルは公式予選までの短い時間では対処をする事が出来ず、公式予選には3,4,5速しか使えないという、上位進出は絶望的な状態で挑む事となってしまった。

【公式予選】 天候：曇 | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始31℃/44℃&gt;終了31℃/41℃

15時30分に始まったGT300クラスの公式予選1回目。占有走行で15分の走行時間となる。気温は午前中より高くなったものの、セパン大会としては控えめの気温31℃、路面温度も50度に及ばないというコンディションでの走行となった。

好調なスタートから一転、一時は予選を辞退する事も検討されたが、吉本は「決勝で少しでも前のポジションからスタートをしたいから、なんとか走らせてほしい」とエンジニアと交渉、ギアボックスに重大なトラブルを抱えたままこの予選に挑む事になったtriple a vantage GT3は、その吉本大樹がマシンに乗り込みコースイン。するとここで吉本は3,4,5速しか使えていないとは思えない走りを披露する。Vantage GT3のギア比は通常よりもロングな設定となっており、今回のセパンであれば6速は使用せず、1速は他のマシンの2速、2速は他のマシンの3速程のギア比に相当する為、他のマシンでいう2速、3速が使えない状態。ところが吉本は、このまともなアタックラップを走り切る事すら困難なはずのマシンで2'08"555をマーク。流石にスーパーラップに進出する事は叶わなかったものの、何と14番手のタイムをマーク。翌日の決勝に向けては、「急遽AMRのあるイギリスからパーツを持って飛んでもらう段取りをつけてみたり試行錯誤してみましたが…ダメでした。決勝に間に合った時に追い上げられる様に少しでも前スタートをしたくて無理に予選を走らせて欲しいとお願いしたんですけどね…。レースはかなり厳しい展開になるのは間違いないけど、とりあえず天候もコロコロ変わるマレーシアなので、そんな状態でも諦めずに少しでもポイントを獲得するために頑張ります。事前に防げたのに防げなかった部分、サプライヤー側のスペアパーツの無さ等に対して心の整理ができない位にガッカリしていますが、とにかく明日はやれるだけやりたいと思います(吉本大樹)」と、何とか気持ちを切り替え、この日のセッションを終了する事となった。

12' SUPER GT SERIES Round\_3 / Sepang International Circuit

2012.6.9 (Sat) Free Practice &amp; Qualify

Text : [www.hiroki-yoshimoto.com](http://www.hiroki-yoshimoto.com)

#### PERSONAL SPONSORS

#### PARTNERS



## Race Report

21 June, 2012

### A SPEED & 吉本大樹、 誰も予想し得なかった追い上げで、奇跡の3位表彰台を獲得！！

【決勝】 天候：晴れ | コース：ドライ | 気温/路面温度 開始:33℃/51℃ 終盤:32℃/44℃

事前の天気予報どおり強い南国特有の日差しが照り付け、路面温度が50℃を超える暑さとなった決勝日(日曜日)の午後4時。いよいよ決勝レースのフォーメーションがスタートした。そのフォーメーションは2周に渡り行われる事になり、さらにスタート直後の1コーナーで2番手のマシンがスピンを喫する等、波乱の展開を感じさせた決勝レースの幕開け。するとtriple a vantage GT3はこのスタート直後から奇跡の追い上げを見せる事となる。

「どう足掻いてもパーツが届かないことがわかった段階で、メカニックが「2速がダメなら1速だけでも使える様に」と夜中まで頑張ってくれた」というマシンを朝のフリー走行で確認したtriple a vantage GT3は、なんとこのセッションで8番手タイムをマーク。最後までギアボックスがもつかどうかという不安材料は残りながらも、“蹴り出し”の1速をえるようになったことは大きく、ポジティブな要素を得つつレースをスタートした。このスタートでステアリングを握ったのは星野選手。するとその星野選手はスタート直後から2速が無いとは思えないペースで序盤から一気にポジションアップ。その後もトップ集団からも大きく遅れる事無く、スティントの終盤にはGT300クラスのマシンの中で最も早いラップを刻みながらピットへと戻ってくる。

するとその熱い走りを受け継ぎコースへと戻った吉本大樹もここから奇跡の様なペースでさらなる追い上げを見せていく。ピット作業で若干のロスがあったものの、吉本は次々に前車をパスしてスティント中盤で6番手へ、そしてその後2号車 (EVANGELION RT TEST-01 PETRONAS Shiden) をパスし5番手にポジションアップ。さらに勢いもそのままに、13秒程前を行っていた3番手争い集団にぐんぐん追いついていく。そして迎えたラスト5周。ここで遂に3番手集団に追いついた吉本は、手負いのマシンながら奇跡の大逆転を狙い後方からチャンスを伺っていく。しかし集団には追いついたものの中々前が出るチャンスも無いままに迎えた最終ラップ。するとここにこのレース最大の波乱が待っていた。なんと2番手を走っていたGSR 初音ミクBMWがガス欠でストップ。その横をエンドレス TAISAN 911とS Road NDDP GT-R、そしてtriple a vantage GT3がすり抜けていく。これでtriple a vantage GT3は最後の最後で4位を手にしたかに思われた。ところが波乱はこれで終わらない。なんとS Road NDDP GT-Rの背後に着けていた吉本大樹は最終コーナーでS Road NDDP GT-Rのインに強引に飛び込みこれをオーバーテイク！最終ラップの最終コーナーという土壇場で見せた執念のオーバーテイクで3番手チェッカーをもぎ取ったマシンを見たピットには歓喜の声が響く事となった。

フリー走行トップという最高の滑り出しから一転、決勝への出走すら危ぶまれる危機的状況に追い込まれながらも、そこから奇跡の追い上げを見せたtriple a vantage GT3。シリーズチャンピオンを狙う為には絶対に落とせないセパンでの一戦を3位で切り抜けた事でランキングも6位を死守。トップとはわずかに11ポイント差で第4戦を迎える事となる。NEWマシン「GT3」を初投入した第2戦、そして今回の第3戦と連続でレース中のファステストラップを獲得する等、その速さは確実に優勝を狙える位置にいる事を証明しているだけに、後半戦でのシーズン初勝利、そして更なる活躍を予感させ今シーズン第3戦を締めくくる事となった。

12' SUPER GT SERIES Round\_3 / Sepang International Circuit  
2012.6.10 (Sun) Final  
Text : [www.hiroki-yoshimoto.com](http://www.hiroki-yoshimoto.com)

#### PERSONAL SPONSORS

#### PARTNERS



## Race Report

21 June, 2012

### 吉本大樹コメント

前戦でも3位表彰台を獲得していますが、今回の表彰台はその100倍嬉しいです！

本来、トラブルさえ出なければ勝っていたと思います。それは前戦のセーフティーカーが出ていなければ…というものとは全く違うものです。トラブルが出た原因は今後追究していかなければなりません、土曜日にそのトラブルが出た時点で気持ちを切り換える必要がありました。トラブルが出た事は本当に残念だったし腹ただしかったです。でもここからのチームワークは本当に素晴らしいものがあったと思います。2速が使えないマシンで誰が表彰台を獲得することを想像できたでしょうか？勿論、乗っていたドライバーやスタッフも想像できなかった結果ですが、これは力を貸してくれた全ての人達のおかげだと思っています。マシンのバランスは非常に良く、ヨコハマタイヤさんのスタビリティも素晴らしかったです。決勝での状況だけを考えれば本当に素晴らしいレースだったと思います。

しかし、今回はAMR (Aston Martin Racing) からスタッフも来ていたので迅速に対応することができたことも多かったです。毎戦来てくれる訳ではありません。ですので今後は如何にどんなトラブルが出た時にも瞬時に対応する能力を持てるか、もちろんいかに未然に防げるかが重要になってきます。「取りこぼさず済んだ第3戦セパン！」とは思わず、「本来もっとポイントが取れていたはずの第3戦セパン！」と、気持ちを新たに次戦SUGOは三度目の正直で優勝を目指して頑張りたいと思います！



## PHOTO



### PERSONAL SPONSORS

### PARTNERS